

過去形の導入で一番もったいないのは、規則変化の説明から入ってしまうことです。生徒がまず必要なのは「あ、昨日の話をしてるんだ」という時制の感覚。この授業案は、教師の「昨日の日記」からウソを1つ見破るゲームで、過去形の文を文脈ごと大量に聞かせてから形式の整理に入ります。

この教材で解決できる悩み

- ・ edをつける規則は覚えたのに、話すと現在形に戻ってしまう
- ・ 不規則動詞をいつ・どう出すか、導入の設計が定まらない
- ・ 教師の自己開示ネタで生徒との距離を縮めたい(1年生の3学期に効く)

教材の概要

項目	内容
対象	中学1年(BLUE SKY 1 Unit 10)
文法項目	過去形(規則動詞・頻出不規則動詞 go / eat / see / have)
形式	授業案A4・3ページ+ウソ日記ワークシート
所要時間	50分×1コマ
準備物	教師自身の「昨日の写真」があれば最強(なくても可)

授業の流れ(50分)

導入: 先生のウソ日記(15分)

昨日のこととして4文を提示します(例)。

1. I watched a soccer game on TV.
2. I cooked curry for dinner.
3. I went to the gym.
4. I ate 20 hamburgers.

「1つだけウソ。どれ？」と問い、ペアで相談→挙手で投票。ネタバラシのあと「全部“昨日”の文。動詞がどうなる？」と形式に注意を向けます。watched / cooked(規則)とwent / ate(不規則)を最初から混ぜて聞かせるのがポイント。実際の英語は混ざって出てくるからです。

形式の整理(10分)

板書で規則組と不規則組に仕分けし、「edをつける仲間」「単語ごと変身する仲間」と名づけます。不規則動詞はこの日は go / eat / see / have の4語に絞り、一覧表の暗記は次時以降に回します。

edの発音(/t/ /d/ /ɪd/)をこの日に全部教えたいくなりますが、導入日は「watchedは“ウォッチトゥ”と読む」程度の音まねに留めるのが安全です。ルール化は定着プリントの回でまとめて扱うほうが混乱しません。

展開: 生徒のウソ日記(20分)

ワークシートに「昨日やったこと3文+ウソ1文」を書き、ペアでウソ当てクイズ。動詞は黒板の語彙バンク(規則12語+不規則4語)から選べるので、書けずに止まる生徒が出ません。

まとめ(5分)

「一番だまされたウソ」を数名に発表させて笑って終わります。シートは回収し、次時の帯活動の音読素材に再利用します。

回収後のひと工夫

集めたウソ日記から傑作を10文選び、次の授業で「クラスのウソ日記ベスト10」として配ると大歓声が上がります。誤りが多かった形(× I goed)も匿名で載せて、みんなで直すところまでがセットです。